

合同クリスマス開きました

コンサートやキャンドルサービス・9人の神父様、各病棟へ

聖マリア病院の第57回合同クリスマスが12月25日に開かれました。コンサートやキャンドルサービスなど様々な行事で患者さんやご家族とクリスマスを祝うことができました。

クリスマスコンサートは大牟田市の明光学園クワイアチャイム部の皆さんによる演奏です。同部には中学生17人と高校生5人が所属しているとのことですが、クワイアチャイム（ハンドベルの一種）を専門にした部活動は大変珍しい



病棟を訪れた宮原良治司教様

とのことです。日ごろから福祉施設などへ慰問演奏に出かけるなど活発に演奏活動をされています。



明光学園クワイアチャイム部による演奏会

聖マリア病院では当日、1診ロビーとホスピス病棟を会場に演奏していただきました。20人を超える演奏者の巧みなチームワークで素敵なクリスマス曲を聞かせていただき、患者さんやご家族からも大きな拍手がわきました。



雪の聖母聖堂で行われたクリスマスミサ

人の入院患者さんがいらっしゃいました。宮原司教様を含む9人の神父様に分担して病棟を回っていただきました。

コンサートの後、「雪の聖母聖堂」でクリスマスミサが行われました。カトリック福岡教区の宮原良治司教様をはじめ9人の神父様の司式のもとで皆で主のご降誕を祝いました。

午後6時ごろから、各病棟でキャンドルサービスがありました。当日、聖マリア病院には32病棟に約950

明かりを消した各病棟では、聖マリア学院大学と久留米信愛女学院の学生・生徒さんによるキャンドルサービスの中、神父様が患者さん一人ひとりのもとを訪れて祝福をし、励ましの言葉をかけられ、クリスマスケーキをプレゼントされました。